

JC NEWS

2008

愛が溢れる
社会の実現に向けて

Kitakyushu JC Report 2008

到津の森 ちからの会便り①

1998年到津遊園の閉園決定後、(社)北九州青年会議所を中心に北九州市に到津遊園存続の陳情書を提出した結果、2002年4月に現在の「市民が支える公園」到津の森として生まれ変わりました。ここでは、市民の支援により公園の運営費やえさ代の一部が捻出されており、まさに市民の「ちから」によって支えられています。2005年に発足した『到津の森ちからの会』は、公設市民サポーターズクラブです。本年度は、中柴直前理事長が会長に就任し、公園の維持、存続に力を注いでいきます。是非、JCの力で愛着ある公園を守っていきましょう。



到津の森 ちからの会 幹事長 有江 大輔

Kid's ISOプログラム表彰授与式

日時 ■1月12日(土)
場所 ■東京・国際連合大学

1月12日(土)東京・青山の国連大学にて2007年度 Kids'ISO14000プログラム初級編認定証授与式が行われ、認定を受けた122名の内92名と関係者17名、そして中柴直前理事長をはじめとする北九州JCメンバー13名の総勢122名にて、1泊2日の研修旅行へ行ってきました。国際色豊かな授与式は英語と日本語で行われ、オスカーワルダ-国連大学学長と米アーテック・トドマン氏より一人づつ認定証が授与され、大勢の方を前に緊張しつつも、誇らしげな子どもたちの表情が大変印象的でした。2日目は渋谷の電力館を見学し、展示物で遊びながらエネルギー環境について学習いたしました。この事業を通して、環境問題は私たちにとって身近なものであること、また私たちの周りだけでなく地球全体の問題であることを、私たち大人も再認識させられるきっかけとなりました。このプログラムを受けた子どもたちの心の中には地球への思いやりが根付いたのではないのでしょうか。



07年度 次世代環境教育委員会 副委員長 野崎 誠一郎

*国際連合大学。日本に存在する唯一の国連の機関。青山学院大学の真正面にある。学術的国際協力を促進し、地球規模の緊急課題に関して具体的解決策を目指す学際的研究を行い、さらに途上国の研究・研修面の能力強化に寄与する新しいタイプの大学。研究機関であり、正式な所属学生は存在しない。またこの大学に試験を受けて入学することはできない。

例会のごあんない

日時 ■3月7日(金)19:00~21:00
場所 ■クラウンパレス北九州
(旧北九州プリンスホテル)

第一エリア合同例会・福岡ブロック協議会会長公式訪問

3月度例会は第一エリア合同例会・懇親会となっております。福岡ブロックの事業内容・目標を認識し、各LOMの方向性を理解し共有します。また第一エリア及び近隣LOMの方々に(社)北九州青年会議所の団結力をアピールするため、全メンバーでの参加をお願いいたします。是非この合同例会で第一エリア及び近隣LOMの方々と親睦を深めていただき、これからの青年会議所活動ならびに仕事や生活にも活かしていただければと考えています。

お問い合わせ先:例会委員会 委員長 平原 潤

Jコンのごあんない

日時 ■3月11日(火)19:00~21:00
場所 ■ステーションホテル小倉
(7F レストラン ドゥ・ラ・ガール)
会費 ■4,000円 (フリードリンク付)

(社)北九州青年会議所では、当青年会議所に入会を希望される方への説明会を開催いたしております。「青年会議所への入会を考えているんだけど」という方、または入会を検討されている方が身近におられましたら、まずは青年会議所メンバーとの出会いの場である「Jコン(JCコミュニケーションパーティー)」へご参加ください。出愛を大切にされる拡大委員会メンバーをはじめ、気さくな仲間が「北九州青年会議所」をご案内いたします。

お問い合わせ先:拡大委員会 委員長 吉武 太志

2月度入会された新入会員の紹介

松浦 晃子君
マツウラ アキコ
生年月日/昭和54年12月2日
会社名・役職/邦楽の店 渡辺
紹介者/吉武 太志・吉田 幸正

谷口 彰君
タニグチ アキラ
生年月日/昭和47年5月14日
会社名・役職/(有)ウテナ飯金 部長
紹介者/平野 真一郎・山本 浩

松井 聡君
マツイ サトシ
生年月日/昭和48年4月26日
会社名・役職/社会福祉法人 鷹羽会 生活相談員
紹介者/宮熊 伸一・古森 健一

中條 雅文君
ナカジョウ マサフミ
生年月日/昭和47年7月18日
会社名・役職/アールエル建築デザイン事務所 代表
紹介者/吉田 幸正・齊藤 勝亮

安達 正和君
アダチ マサカズ
生年月日/昭和58年1月7日
会社名・役職/(株)九州ネクスス ホテルニュータガワ
紹介者/末松 雅之・有江 大輔

山下 浩毅君
ヤマシタ ヒロキ
生年月日/昭和48年4月14日
会社名・役職/ミナト機工(株) 取締役営業部長
紹介者/宮熊 伸一・辰本 誠一郎

愛が溢れる 社会の実現に向けて。

- 新年例会・祝賀会
- 九州厚生年金会館の機能存続を求める市民運動実行委員会
- (社)日本青年会議所2008年度京都会議
- (社)貝塚青年会議所友好会議



新年例会・祝賀会におきまして、「愛」～愛が溢れる社会の実現に向けて～をテーマに2008年度の運動方針を発信させて頂きました。当日は、多くのご来賓の皆様、先輩方、来訪JCメンバーの方々にご臨席を賜りまして盛大に開催することが出来ましたことを心より感謝申し上げます。また、本年度のスタートにおいてメンバー一人ひとりが自らの担いを実践できたことは大きな収穫であり、この勢いを今年度の各事業にも活かして参ります。

本年の京都会議では、(社)日本青年会議所小田興之彦会頭より、日本中の全てのJCの英知と勇気と情熱を集め、ローカルコミュニティーの復活、そして、したたかで、強く、誠実な「気高き日本」の創造を目指していく所信が発信されました。まさに、我がまち北九州の未来を創造するためには、私たちが地域のリーダーとなってまちを愛する気持ちと行動をより真摯に積極的に示していかなければならないことと、今こそ、私たちが真のリーダーとして行動していかなければならないことを改めて感じました。

愛する家族や愛する地域(まち)のために運動を展開するというは、自らが源となって職場・家庭・地域など身近な問題に対して目を背けることなく、真正面から向き合わなければなりません。メンバー間、家族、職場でのコミュニケーションをとっていくことが、子どもたちに受け継ぐべく、我がまちの未来を創造するためのヒントが隠されていると感じます。子どもたちが、10年後、20年後に大人になった時に「なぜ、そのとき行動できたのか」と尋ねられるような社会を実現していきたいと考えています。皆様のより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

出愛に感謝
社団法人 北九州青年会議所理事長 飯野 一義